

MHAM US インカムオープン 毎月決算コース (為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の国債、アセットバック証券等の高格付け債や転換社債等の株式関連債およびハイイールド債に投資し、信託財産の中・長期的な成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2019年5月11日～2019年11月11日

第210期	決算日：2019年6月10日	
第211期	決算日：2019年7月10日	
第212期	決算日：2019年8月13日	
第213期	決算日：2019年9月10日	
第214期	決算日：2019年10月10日	
第215期	決算日：2019年11月11日	
第215期末 (2019年11月11日)	基準価額	8,630円
	純資産総額	3,423百万円
第210期～ 第215期	騰落率	4.2%
	分配金合計	180円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

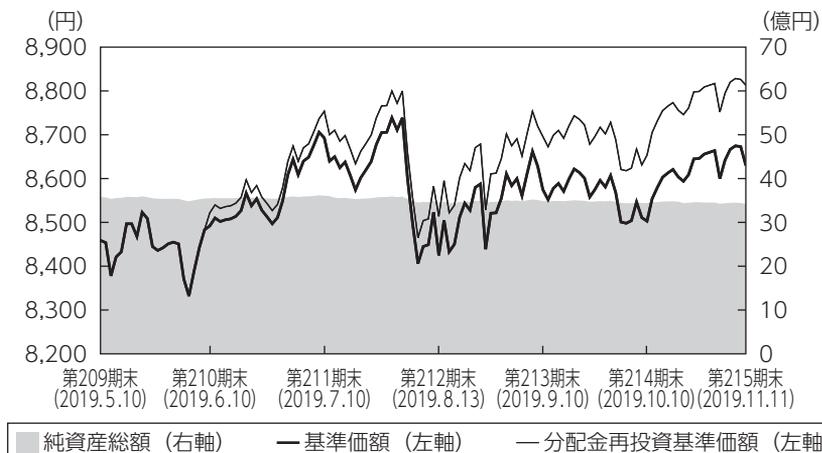
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第210期首： 8,459円
 第215期末： 8,630円
 (既払分配金180円)
 騰落率： 4.2%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

「LA USインカムマザーファンド」受益証券への投資を通じて、主として米国の国債、アセットバック証券等の高格付け債や転換社債等の株式関連債およびハイイールド債に投資を行った結果、高格付け債、ハイイールド債、株式関連債の市況が上昇したことなどから、基準価額は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第210期～第215期		項目の概要
	(2019年5月11日 ～2019年11月11日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	77円	0.904%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,560円です。
(投信会社)	(38)	(0.438)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(35)	(0.411)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(5)	(0.054)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.000	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	3	0.032	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(3)	(0.030)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	80	0.936	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

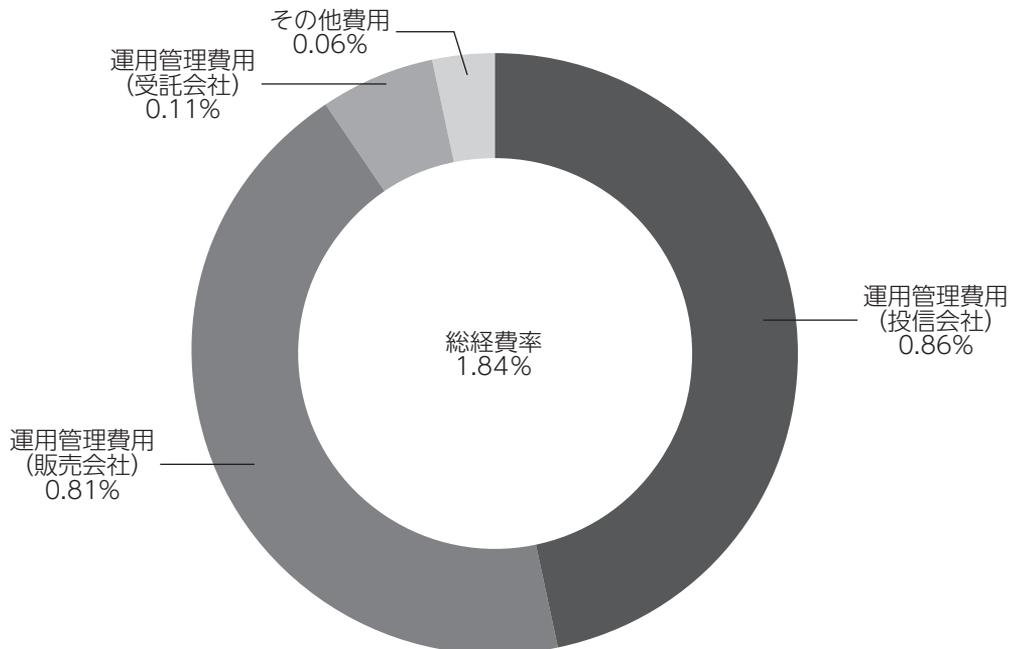
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84%です。



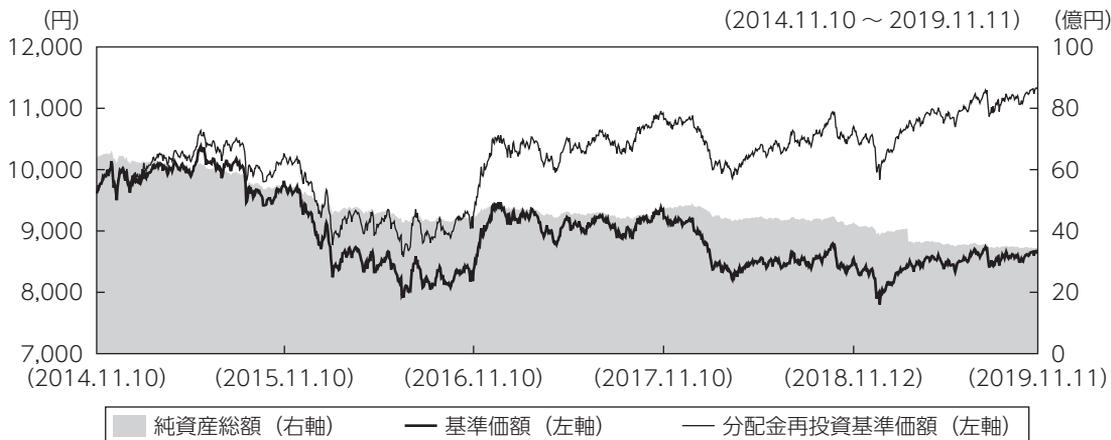
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2014年11月10日の基準価額に合わせて指数化しています。

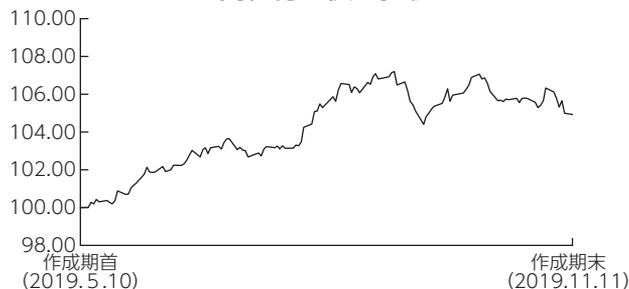
		2014年11月10日 期首	2015年11月10日 決算日	2016年11月10日 決算日	2017年11月10日 決算日	2018年11月12日 決算日	2019年11月11日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	9,615	9,739	8,370	9,213	8,493	8,630
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	480	480	510	580	360
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	6.3	△9.1	16.4	△1.4	6.0
高格付け債指数 (円換算ベース) の騰落率	(%)	—	8.7	△10.5	10.0	△1.9	6.6
ハイイールド債指数 (円換算ベース) の騰落率	(%)	—	5.0	△5.5	16.9	2.4	3.7
株式関連債指数 (円換算ベース) の騰落率	(%)	—	8.6	△11.1	25.9	6.0	7.3
純資産総額	(百万円)	6,388	5,502	4,403	4,709	4,256	3,423

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数は高格付け債指数 (円換算ベース)、ハイイールド債指数 (円換算ベース)、株式関連債指数 (円換算ベース) です。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。
- (注2) 各参考指数は、基準価額への反映を考慮して、前営業日の値 (米ドルベース) を用い、当社が独自に当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しています。

投資環境

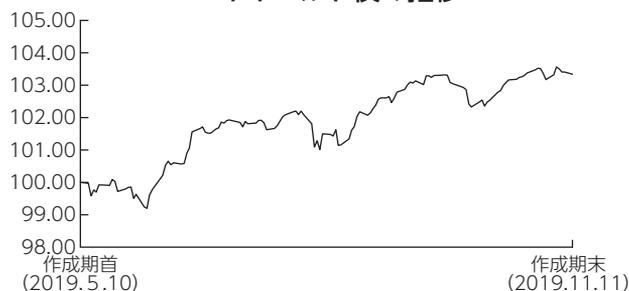
●海外債券市場と為替市場

<高格付け債の推移>



(注) 値は前営業日のものを採用し、作成期首の値を100として指数化しています (以下同じ)。

<ハイイールド債の推移>



<高格付け債>

米国高格付け債市場は、上昇しました。

米連邦準備制度理事会（F R B）による政策金利の引き下げや、米中貿易摩擦に対する警戒感の高まりなどから、米国国債利回りが低下（価格は上昇）したことが、上昇要因となりました。

対米国国債スプレッドは、当作成期を通じてみると小幅に縮小しました。

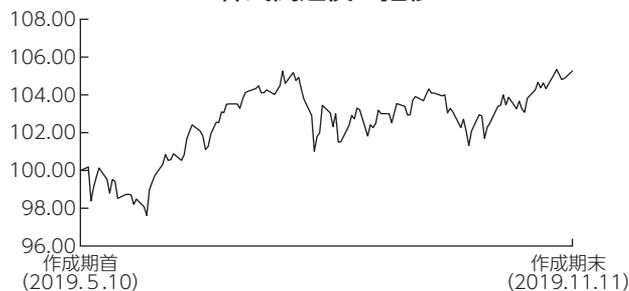
<ハイイールド債>

米国ハイイールド債市場は、上昇しました。

米中貿易問題に対する警戒感や原油価格の下落など、リスク回避姿勢が高まったことなどが下落要因となりましたが、F R Bによる政策金利の引き下げ期待や、相対的に高く安定したクーポン収入などを背景に、堅調に推移しました。

対米国国債スプレッドは、当作成期を通じてみるとおおむね横ばいとなりました。

<株式関連債の推移>

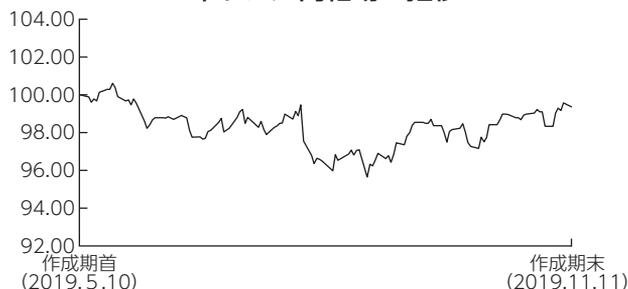


<株式関連債>

米国株式関連債市場は、上昇しました。

6月から8月上旬にかけては、F R Bによる政策金利の引き下げ期待や、米中貿易摩擦の改善期待が高まりなどを背景に、上昇しました。その後は、トランプ米大統領が対中追加関税第4弾を発動すると表明したことや世界景気の減速懸念などから下落に転じる場面もありましたが、10月以降は米国企業の良い決算発表などがサポート材料となり、堅調に推移しました。

<米ドル／円相場の推移>



(注) 作成期首の値を100として指数化しています。

<為替市場>

米ドルは対円で小幅に下落しました。

当作成期前半は、米中貿易問題に対する警戒感によるリスク回避姿勢の高まりや、FRBによる政策金利の引き下げなどを背景に国債利回りが低下したことなどが、下落要因となりました。その後は、英国の合意なき欧州連合（EU）離脱の懸念が後退したことや米中貿易摩擦の緩和観測などを背景に、円安米ドル高が進行し下落幅を縮小しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

「LA USインカムマザーファンド」受益証券の組入比率を高位に維持しました。また、組入外貨建資産に対して為替ヘッジを行いませんでした。

●LA USインカムマザーファンド

当ファンドは、主として米国の国債、アセットバック証券等の高格付け債や転換社債等の株式関連債およびハイイールド債に投資を行い、信託財産の中・長期的な成長を目指します。

経済情勢・市況などに基づいた各セクターの相対的な価値判断に基づき、当作成期初から8月末にかけては、ハイイールド債を中心としたポートフォリオを維持しました。その後は、高格付け債の比率を高めた一方、ハイイールド債および株式関連債等の比率を引き下げました。格付け別の組入比率は、BBB格の比率を高めた一方、BB格およびB格の比率を引き下げました。また、債券の組入比率は高位を維持しました。

上記の運用を行った結果、基準価額は5.2%上昇しました。主な変動要因は以下の通りです。

(主な上昇要因)

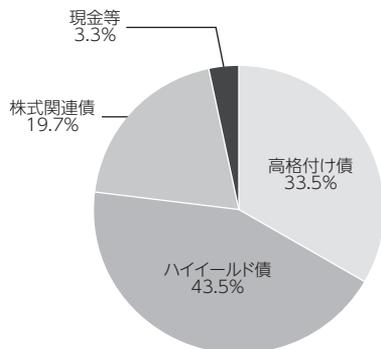
- ・米国高格付け債市場が上昇したこと
- ・米国ハイイールド債市場が上昇したこと
- ・米国株式関連債市場が上昇したこと

(主な下落要因)

- ・米ドルが対円で下落したこと

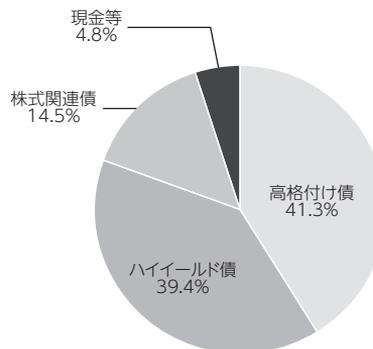
2019年5月10日現在

<資産・債券種別構成>



2019年11月11日現在

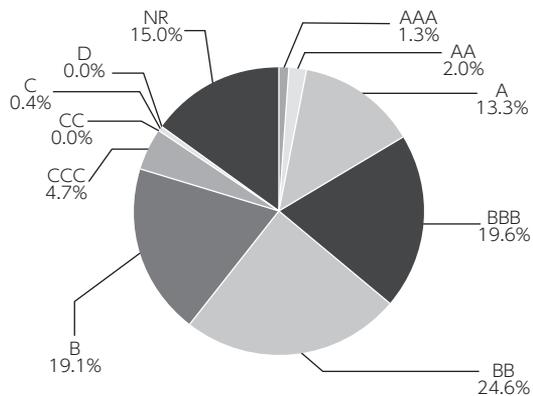
<資産・債券種別構成>



(注) 株式関連債には優先株式等を含みます。

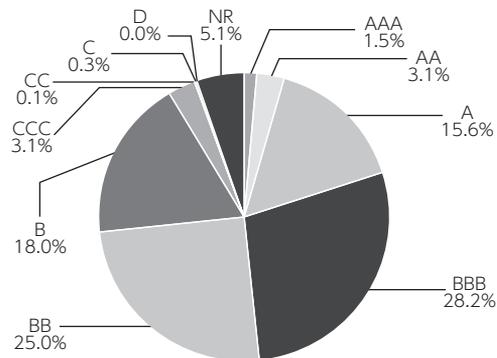
2019年5月10日現在

<格付け別構成>



2019年11月11日現在

<格付け別構成>



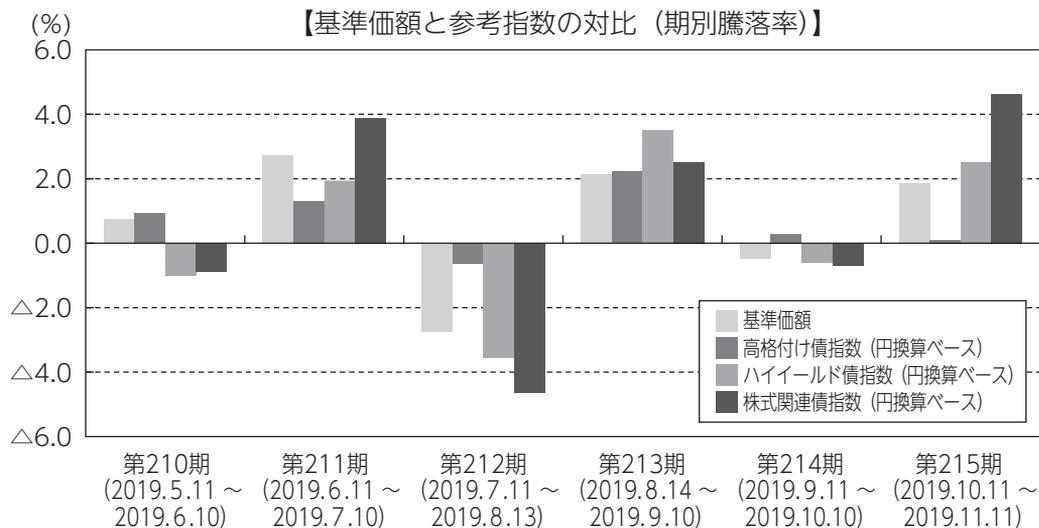
(注1) 格付けはS & P、Moody'sのうち、低い方の格付けを採用しています。(表記方法はS & Pに準拠)

(注2) 格付け別構成は、現金部分は含まれておりません。

(注3) 格付けが付与されていない銘柄についてはNRと表示しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額（分配金再投資ベース）と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当作成期の収益分配金は、基準価額水準、市場動向および商品性格等を勘案して、下記のとおりいたしました。なお、収益分配に充てず信託財産に留保した収益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第210期	第211期	第212期	第213期	第214期	第215期
	2019年5月11日 ~2019年6月10日	2019年6月11日 ~2019年7月10日	2019年7月11日 ~2019年8月13日	2019年8月14日 ~2019年9月10日	2019年9月11日 ~2019年10月10日	2019年10月11日 ~2019年11月11日
当期分配金（税引前）	30円	30円	30円	30円	30円	30円
対基準価額比率	0.35%	0.34%	0.35%	0.35%	0.35%	0.35%
当期の収益	25円	28円	20円	23円	16円	29円
当期の収益以外	4円	1円	9円	6円	13円	0円
翌期繰越分配対象額	861円	859円	849円	843円	830円	830円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

「LA USインカムマザーファンド」受益証券の組入比率を高位に維持します。また、組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。

●LA USインカムマザーファンド

米国の国債、アセットバック証券等の高格付け債や転換社債等の株式関連債およびハイイールド債を主要投資対象とし、信託財産の中・長期的な成長を目指します。

資産配分については、高格付け債およびハイイールド債を中心としたポートフォリオとし、高格付け債については、社債の割合を高め維持する方針です。株式関連債については、利回りを確保しつつ、株式市場の上昇に連動した価格上昇が期待できる銘柄に着目して運用します。

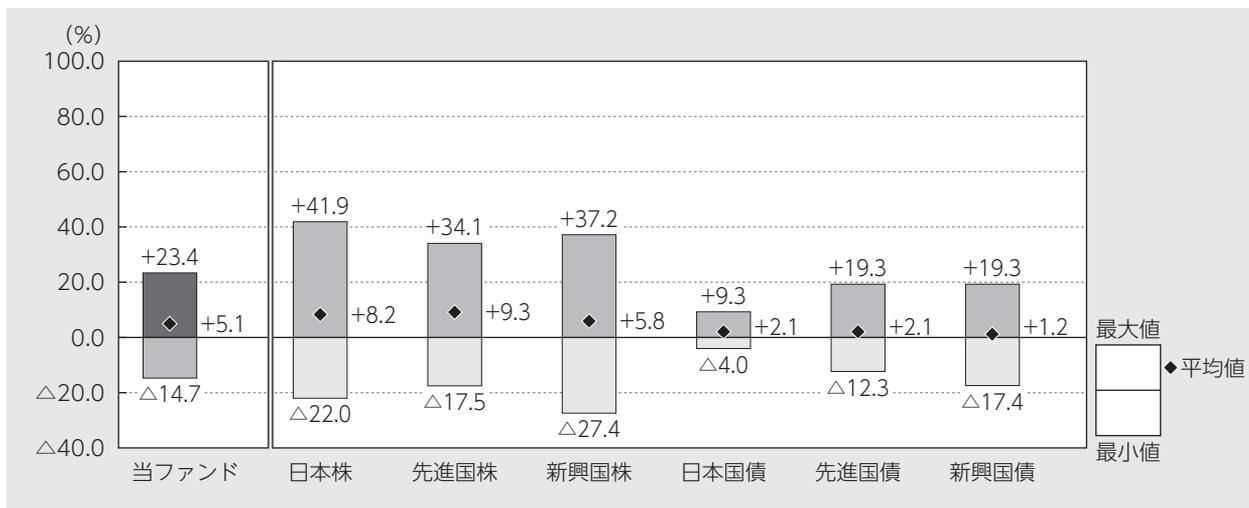
個別銘柄選択においては、発行会社の有する手元流動性、経営陣の質、実物資産の価値を重視します。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2001年12月3日から無期限です。	
運用方針	主として、米国の国債、アセットバック証券等の高格付け債や転換社債等の株式関連債およびハイイールド債に投資し、信託財産の中・長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	MHAM USインカム オープン毎月決算コース (為替ヘッジなし)	LA USインカムマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、債券等に直接投資する場合があります。
	LA USインカム マザーファンド	米国の国債、アセットバック証券等の高格付け債や転換社債等の株式関連債およびハイイールド債を主要投資対象とします。
運用方法	米国の債券市場3セクター（高格付け債・株式関連債・ハイイールド債）に分散投資します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 LA USインカムマザーファンドにおける運用指図に関する権限をロード・アベット・アンド・カンパニー エルエルシーに委託します。	
分配方針	年12回（原則毎月10日）決算を行い、原則として配当等収益等を中心に分配を行います。ただし、基準価額水準によっては、売買益等が中心となる場合があります。収益分配に充てず信託財産に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用しています。(ファミリーファンド方式とは、投資者の皆さまからお預かりした資金をまとめてペビエーファンドとし、その資金をマザーファンドに投資することにより、その実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2014年11月～2019年10月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとして計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2019年11月11日現在)

◆組入ファンド等

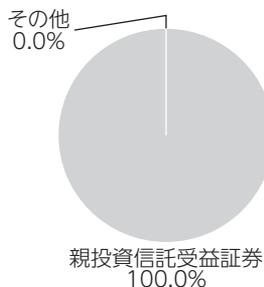
(組入ファンド数：1ファンド)

	第215期末
	2019年11月11日
LA USインカムマザーファンド	100.0%
その他	0.0

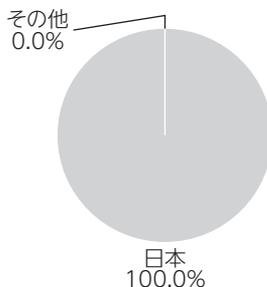
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

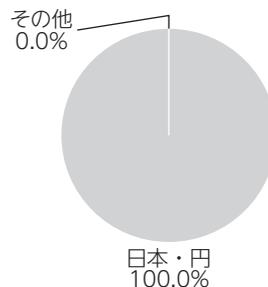
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注3) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

純資産等

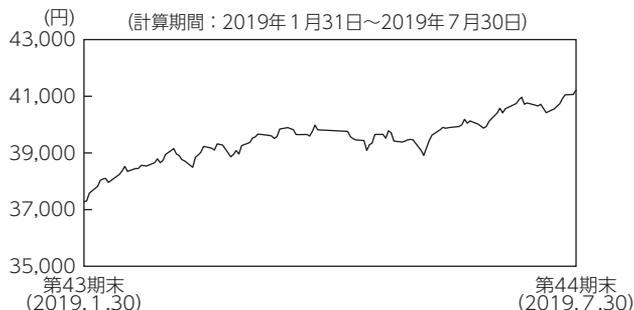
項目	第210期末	第211期末	第212期末	第213期末	第214期末	第215期末
	2019年6月10日	2019年7月10日	2019年8月13日	2019年9月10日	2019年10月10日	2019年11月11日
純資産総額	3,549,766,356円	3,609,850,964円	3,451,625,747円	3,489,172,017円	3,440,100,279円	3,423,654,498円
受益権総口数	4,180,239,063口	4,152,728,877口	4,096,808,822口	4,069,012,037口	4,045,793,874口	3,967,087,719口
1万口当たり基準価額	8,492円	8,693円	8,425円	8,575円	8,503円	8,630円

(注) 当作成期間(第210期～第215期)中における追加設定元本額は47,248,625円、同解約元本額は312,857,505円です。

組入ファンドの概要

[LA USインカムマザーファンド] (計算期間 2019年1月31日～2019年7月30日)

◆基準価額の推移



◆1万口当たりの費用明細

項目	(2019年1月31日～2019年7月30日)	
	金額(円)	比率(%)
平均基準価額	39,114	—
(a) 売買委託手数料 (株式)	0 (0)	0.000 (0.000)
(b) 有価証券取引税 (株式) (投資信託証券)	0 (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000)
(c) その他費用 (保管費用)	13 (13)	0.034 (0.034)
合計	13	0.034

◆組入上位銘柄

[債券]

(組入銘柄数：324銘柄)

順位	銘柄	種別	通貨	利率	償還日	比率
1	EVERBRIDGE INC	転換社債	米ドル	1.50000 %	2022/11/01	3.2 %
2	AMAZON.COM INC	普通社債	米ドル	5.20000	2025/12/03	2.7
3	ADVANCED MICRO DEVICES INC	転換社債	米ドル	2.12500	2026/09/01	2.6
4	XILINX INC	普通社債	米ドル	2.95000	2024/06/01	2.0
5	EXACT SCIENCES CORP	転換社債	米ドル	1.00000	2025/01/15	1.9
6	REPLIGEN CORP	転換社債	米ドル	2.12500	2021/06/01	1.9
7	SERVICENOW INC	転換社債	米ドル	0.00000	2022/06/01	1.6
8	AEROJET ROCKETDYNE HOLDINGS INC	転換社債	米ドル	2.25000	2023/12/15	1.6
9	HCA INC	普通社債	米ドル	5.50000	2047/06/15	1.6
10	CCO HOLDINGS LLC / CCO HOLDINGS CAPITAL CORP	普通社債	米ドル	5.75000	2024/01/15	1.3

[株式]

(組入銘柄数：5銘柄)

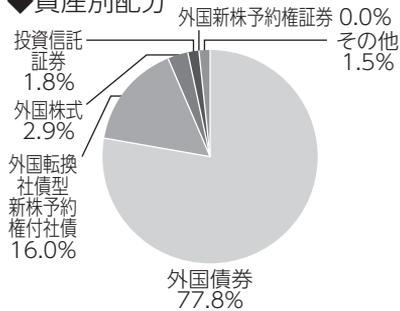
順位	銘柄	業種	通貨	比率
1	DANAHER CORP 4.75% (PFD)	ヘルスケア機器・サービス	米ドル	1.8 %
2	STANLEY BLACK & DECKER 5.375%(PFD)	資本財	米ドル	0.7
3	EURONET WORLDWIDE INC	ソフトウェア・サービス	米ドル	0.5
4	REMINGTON OUTDOOR COMPANY INC	資本財	米ドル	0.0
5	REMINGTON OUTDOOR WARRANTS	資本財	米ドル	0.0

[投資信託証券]

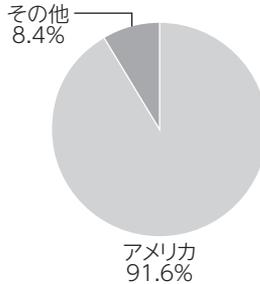
(組入銘柄数：1銘柄)

順位	銘柄	通貨	比率
1	CROWN CASTLE INTERNATIONAL 6.875(PFD)	米ドル	1.8 %

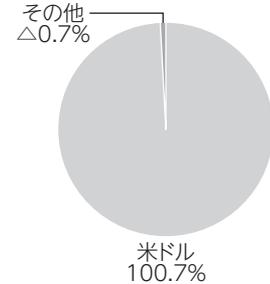
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) (PFD) は優先証券を示しています。

(注2) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は当マザーファンドの直近の計算期間末のものです。

(注3) 組入上位銘柄の〔債券〕には外国転換社債型新株予約権付社債を含みます。

(注4) 組入上位銘柄の〔株式〕には外国新株予約権証券を含みます。

(注5) 1万口当たりの費用明細は当マザーファンドの直近の決算期のものです。費用の項目の概要については運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注6) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計（除く現金）に対する割合です。

(注7) その他は100%と配分比率の合計との差になります。そのため、その他を除く配分比率の合計が100%を超過する場合にはマイナス表示になります。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

＜当ファンドの参考指数について＞

- 高格付け債指数（ICE BofAML US Corporate & Government Index）
- ハイイールド債指数（ICE BofAML US Cash Pay High Yield Index）
- 株式関連債指数（ICE BofAML All US Convertibles Index）

ICE Data Indices, LLC（「ICE Data」）、その関係会社及びそれらの第三者サプライヤーは、明示又は黙示のいずれかを問わず、インデックス、インデックス・データ、及びそれらに含まれ、関連し、又は派生する一切のデータを含めて、商品性又は特定の目的若しくは使用への適合性の保証を含む一切の表明及び保証を否認します。ICE Data、その関係会社又はそれらの第三者サプライヤーは、インデックス、インデックス・データ若しくはそれらの構成要素の適切性、正確性、適時性又は完全性について、なんら損害賠償又は責任を負わず、インデックス、インデックス・データ及びそれらの全ての構成要素は、現状有姿において提供されるものであり、自らの責任において使用いただくものです。ICE Data、その関係会社及びそれらの第三者サプライヤーは、アセットマネジメントOne(株)又はその製品若しくはサービスを後援、推薦又は推奨するものではありません。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（(株)東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。